

# 総合学科だより

## 社会人講話

六月十二日（水）、一年生「産業社会と人間」の授業で、社会人講話が開かれました。  
この講話の目的は、二年生から分かれる四つの系列に関係した職業の方や大学、専門学校の方から、仕事のやりがいや、学ぶことの意義などの話を聞き、今後の系列選択の参考とするものです。  
生徒は、五つある講座から五限目と六限目に一講座ずつ選んで聴講しました。



NPO 法人飛騨小坂 200 滝  
米野孝齋さんの講話

〈生徒の感想①〉  
観光ガイドは、お客さんを案内するだけでなく、どうしたら来てもらえるのかを考えることが仕事だと知りました。お客さんの気持ちを第一に考えることが大切だと分かりました。

〈生徒の感想②〉  
炭酸泉は、けっして「おいしい」というものではないけれど、料理に使うとおいしくなるという話が印象に残りました。



湯屋の炭酸泉を飲みました  
これはちょっと…



星城大学 小井浩樹さんの講話

〈生徒の感想③〉  
星城大学の経営学部、リハビリテーション学部を中心に、大学で学ぶ意義についてお話を聞きました。高校一、二年生の間に、自分はどうな職業に就きたいかを、しっかりと決めておくことが大切ということが分かりました。



サンビレッジ国際医療福祉専門学校  
廣瀬 武さんの講話

〈生徒の感想⑥〉  
野菜を切る包丁、魚を切る包丁、重い包丁、まがった包丁などたくさん種類の包丁があつて面白く感じました。

〈生徒の感想⑦〉  
作業療法士は、身体を治すだけでなく、その人が大切にしていることをもう一度できるようにケアするということが分かりました。



食文化系列の講話では、望川館 今井修さん（上右）、吉泉館 吉川俊行さん（下）のお話の後、神明山荘 河村明成さん（上左）から調理師としての経験談を聞きました。



みなみこども園長 小林桂子さんの講話

〈生徒の感想④〉  
自分たちで、子どもになった気分です。折り紙を折ってみましたが、子どもに対して、どんな接し方をすればよいか分かりました。  
〈生徒の感想⑤〉  
今日の講話を聞いて、やっぱり保育士になりたいと思います。絵本を強弱を付けて読むところが、とてもすごかったです。

## 天領朝市が始まりました！

毎年六月～十一月の金曜日に、萩原本町商店街で開かれる天領朝市。今年も観光産業系列の三年生が出演しています。  
七月十二日に訪れてみると、昨年、萩原商工会青年部のみなさんと共同製作した屋台に「益田清風」の暖簾を掲げて、ジェラートやトマトを販売していました。



新しい屋台で販売しています



「益田清風高等学校産」  
とうもろこしジェラート

## 萩原小学校 出前授業

七月十八日（木）、言語・文化系列三年生が、萩原小学校を訪問し、小学校二年生の子どもたちに英語の出前授業を行いました。  
アルファベットのリズム練習、カルタ取りで盛り上がりました。



## みなみこども園 夏祭り

七月十八日（木）、健康福祉系列三年生が、「保育実習」の一環として、みなみこども園の夏祭りに参加し、子どもたちとの交流を深めました。

